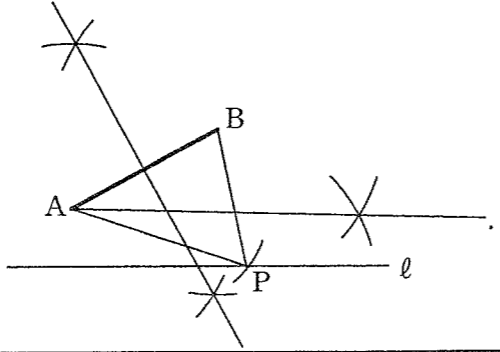
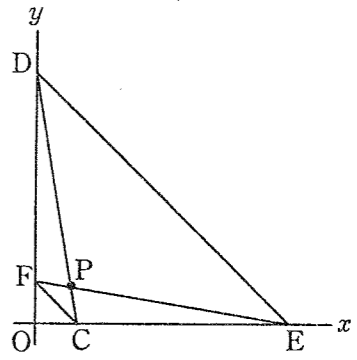


[5]					[4]					[3]				[2]					[1]					問題番号	正答	配点
[問5]	[問4]	[問3]	[問2]	[問1]	[問5]	[問4]	[問3]	[問2]	[問1]	[問5]	[問4]	[問3]	[問2]	[問1]	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)	(4)	(3)	(2)			
エ	ウ・カ	心の通い合う仲間同士(10字)	イ	ウ	略	エ	もの。(72字)	(最初)このように(最後)であろう。 (解答例)民族や国民に共通する句いの快適性で、生まれ育った国や地域の自然環境や食生活などから得た体験や記憶を基に次世代に受けつがれ、文化と連動している	イ	イ	エ	(46字)	ア	ア	職責	序破急	退(いた)	粉	素案	どんこう	ちんじゆ	かんしょう	うるしぬ(り)	だくひ		
5	3×2	4	5	5	10	5	8	4	4	5	5	6	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

問題番号	正 答	配点
[問 1]	-26	6
[問 2]	18	6
[問 3]	$\frac{-1 \pm \sqrt{5}}{4}$	6
[問 4]	$\frac{160}{3} \pi \text{ cm}^3$	6
1 [問 5] 解答例	<p>【作図】</p> 	6

問題番号	正 答	配点
[問 1]	<p>【証明】</p> <p>△CQB と △APB において 四角形 ABCD は正方形であるから BC=BA ① 仮定より BQ=BP ② AQ ⊥ BC より ∠QBC=∠PBA=90° ③ ①, ②, ③ より, 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので △CQB ≡ △APB 合同な図形において対応する角の大きさは等しいので ∠CQB=∠APB ④ また, 対頂角は等しいので ∠APB=∠CPR ⑤ ④, ⑤より ∠CQB=∠CPR <証明終></p>	10
3 (1) 解答例	<p>9+6√3 cm²</p>	7
[問 2]	AR : RP = 3 : 2	7

問題番号	正 答	配点
[問 1]	$y = \frac{5}{2}x + 18$	7
[問 2]	$12\sqrt{10} + 8\sqrt{5} \text{ cm}$	7
2 [問 3] 解答例	<p>【途中の式や計算など】</p> <p>四角形 OPQA は平行四辺形なので, △OPA の面積が 21 cm² になればよい。 OA//PQ であり, 2点 O, A を通る直線の傾きは -2 であるから, 2点 P, Q を通る直線の式は $y = -2x + k$ とおける。 したがって, 点 P の座標を $(p, \frac{1}{2}p^2)$ とおくと, $\frac{1}{2}p^2 = -2p + k$ より $k = \frac{1}{2}p^2 + 2p$ よって, 2点 P, Q を通る直線と y 軸との交点を R とすると $R(0, \frac{1}{2}p^2 + 2p)$ △ORA の面積は, 線分 OR を底辺と考えたとき高さが 4 であることより $\triangle ORA = \frac{1}{2} \times OR \times 4 = \frac{4}{2} (\frac{1}{2}p^2 + 2p) = p^2 + 4p$ また, OA//PR より, △OPA と △ORA の面積は等しいから $\triangle ORA = \triangle OPA = 21$ 以上より $p^2 + 4p = 21$ 変形して $(p+7)(p-3) = 0$ これと $p > 0$ より $p = 3$ このとき点 P の y 座標は $\frac{1}{2} \times 3^2 = \frac{9}{2}$ したがって, 点 P の座標は $(3, \frac{9}{2})$</p> <p style="text-align: right;">【答え】 $(3, \frac{9}{2})$</p>	10

問題番号	正 答	配点
[問 1]	4 通り	6
[問 2]	$\frac{7}{9}$	6
4 [問 3] 解答例	<p>【途中の式や計算など】</p> <p>k の値が最も小さいときは -6 なので, 直線 m の式は $y = -6x + g$ とおける。 これが点 P(6, 6) を通るので $6 = -6 \times 6 + g$ より $g = 42$ ゆえに直線 m の式は $y = -6x + 42$ よって点 D の座標は (0, 42) である。 また $y = 0$ のとき $x = 7$ であるから, 点 C の座標は (7, 0) である。 k の値が最も大きいときは $-\frac{1}{6}$ なので, 直線 n の式は $y = -\frac{1}{6}x + h$ とおける。 これが点 P(6, 6) を通るので $6 = -\frac{1}{6} \times 6 + h$ より $h = 7$ ゆえに直線 n の式は $y = -\frac{1}{6}x + 7$ よって点 F の座標は (0, 7) である。 また $y = 0$ のとき $x = 42$ であるから, 点 E の座標は (42, 0) である。 以上より $\triangle OED = \frac{1}{2} \times 42 \times 42 = 882$ $\triangle OCF = \frac{1}{2} \times 7 \times 7 = \frac{49}{2}$ $\triangle PCE = \triangle PDF = \frac{1}{2} \times 35 \times 6 = 105$ であるから $\triangle PCF + \triangle PDE = \triangle OED - \triangle OCF - 2 \times \triangle PCE$ $= 882 - \frac{49}{2} - 2 \times 105 = \frac{1295}{2}$</p>  <p style="text-align: right;">【答え】 $\frac{1295}{2} \text{ cm}^2$</p>	10

問題番号		正 答		配点		
1	A	<対話文 1>	1 については、共通問題の採点基準に同じ	4		
		<対話文 2>		4		
		<対話文 3>		4		
	B	<Question1>		4		
		<Question2>		4		
2	[問 1]	to sing in English is not easy for		4		
	[問 2]	(2-a) explain	(2-b) sung	4+4		
	[問 3]	ア		4		
	[問 4]	イ		4		
	[問 5]	フ		4		
	[問 6]	ウ		4		
	[問 7]	7-a[ウ]	7-b[エ]	7-c[ア]	4	
	[問 8]	イ	オ	4+4		
3	[問 1]	Because she always enjoys talking in foreign languages and learning foreign cultures.		4		
	[問 2]	was one of the few words I could say		4		
	[問 3]	エ		4		
	[問 4]	[エ] → [イ] → [ウ] → [ア]		4		
	[問 5]	5-a[イ]	5-b[ウ]	5-c[ア]	5-d[エ]	4
	[問 6]	traveled		4		
	[問 7]	イ		4		
	[問 8]	省略		12		